



本社
〒456-0055 愛知県名古屋市熱田区南一一番町15番5号

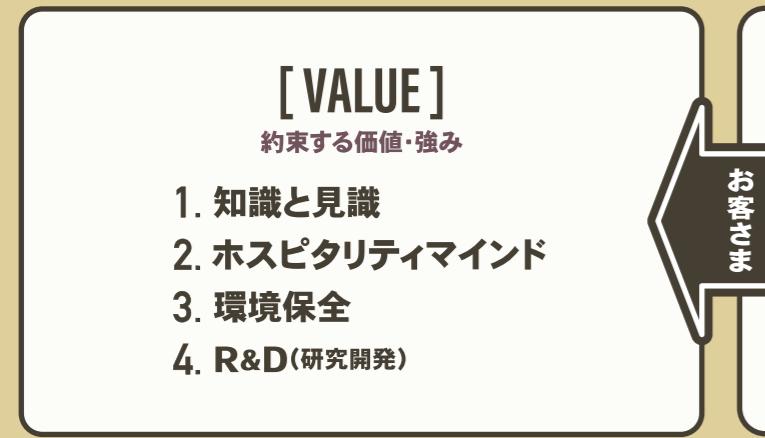
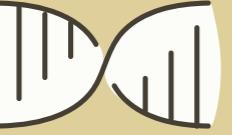
豊川本社
〒442-0008 愛知県豊川市南千両2丁目67

60TH
2020

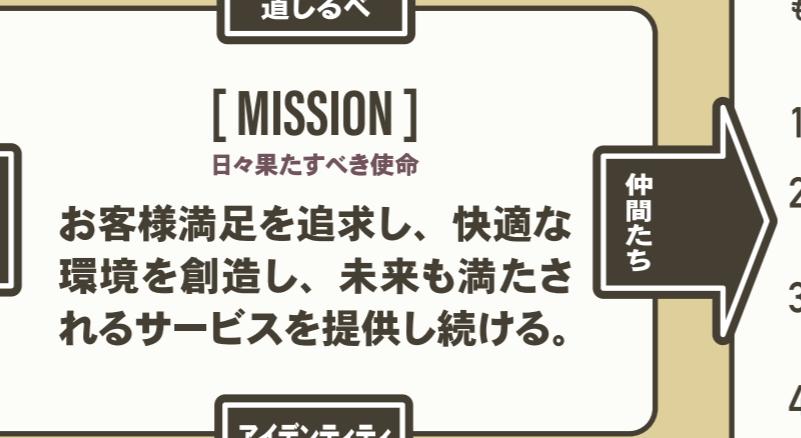
1951

加山興業株式会社

KAYAMA's DNA



道しるべ



お客様

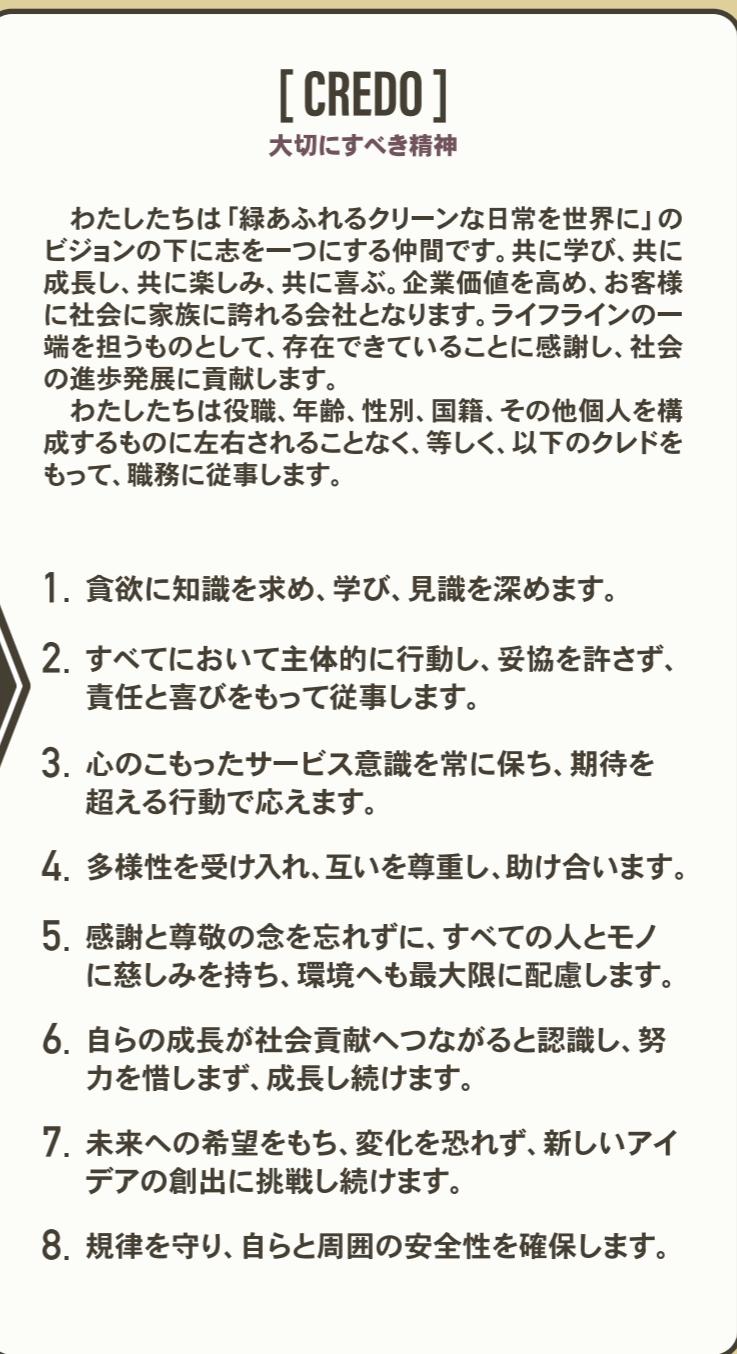
仲間たち

アイデンティティ



緑あふれるクリーンな日常を世界に。これからも皆さんに、地球上に、寄り添います。

代表取締役 加山順一郎
社長任期 / 2010年11月1日～



— 共に働く従業員への約束 —

共に働く従業員の皆様はビジョンの実現に向けて共に挑む同志です。志を同じくする皆様こそが加山興業において最も大切な財産であり、共に成長するパートナーです。多様性を尊重し、健康と安全に配慮した職場環境を整え、皆様とその家族の生活を守ります。個人を敬い、才能を最大限に伸ばすことができるよう育成します。公平に活躍の機会を設け、公正に評価し、心身ともに健康で働きがいのあるあふれる職場を形成します。

— 社会への約束 —

わたしたちはライフラインの一端を担うものとして、存在できていることに感謝し、その感謝の気持ちを形にしてお返しします。環境と深く関わる事業であるからこそ全力をもって、環境問題解決と環境保全に努め、社員一人ひとりの意識を啓発し、サステナブルな社会の構築に寄与していきます。

わたしたちは事業の枠に捉われず、良き企業市民として、意義ある社会事業や災害復興支援、文化・スポーツ支援、次世代育成、地域交流、国際貢献などの活動を積極的に行って、社会との共存・共栄を目指します。

わたしたちは自然災害に備え、危機管理を徹底します。災害発生時には速やかに安全性を確保し、早期復旧に努め、備蓄庫の開放や非常用電力の供給などできる支援を行います。

わたしたちは社会から信頼される企業の一員として、法令を遵守し、安全管理を徹底し、誠実に事業活動を行います。

— お客様への約束 —

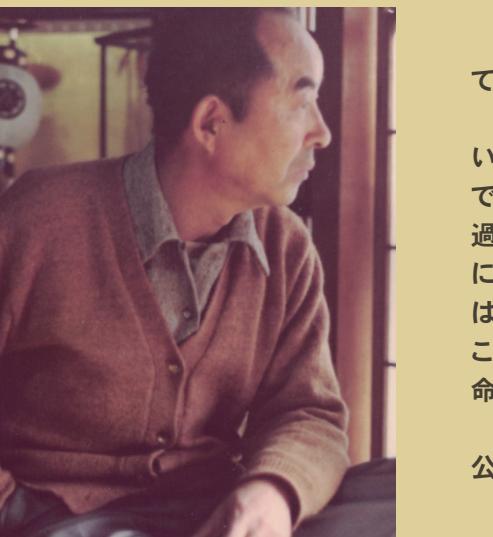
わたしたちはお客様満足を追求し、快適な環境を創り出し、提供することが果たすべき使命であると心得ます。そして、それは未来も満たされるサービスであるべきです。わたしたちは常に知識を求め、学び、成長し、お客様の期待を超えるサービスを提供することをお約束いたします。また、お客様の信頼に応えるために、安全データの開示、法律・サービスに関する情報を適時適切にお客様にお届けします。

界が私たちの目指す未来のカタチであると至りました。この未来を実現することを指標として、事業活動を続けて参ります。それに伴い、「I'm Here!」を私たちの合言葉としました。一人ひとりが加山興業であり、KAYAMA'S DNAを持つものとして、一体であるという考え方の下に「We=私たち」ではなく「I=わたし」を使用しています。「I'm Here! = わたしがおります。わたしが承ります。」とお客様の期待を超える行動でお応えすると共にお声がけいただけるようにいつもお側に寄り添うこと、また、寄り添うに値する存在であるように努力し続けることを表明しています。

社員一同、決意を新たに一層の努力をもって皆様のご厚情にお応えしていく所存です。今後も格別のご愛顧ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

HISTORY

加山興業60年の歴史は 環境保全の歴史



創業者 加山勇雄

社長任期 / 1961年11月1日～1978年4月10日

創業者・加山勇雄は誕生した島根県を離れ愛知県警の警察官として活躍していました。温厚で情に厚く、お人好し。
当時の日本は戦後特需の波に乗り、高度経済成長期へと突入しようとしていました。国民生活は潤い、産業界は活気づいていました。しかし、その一方で、廃棄物処理に関する法律は整っておらず、作ることに重きが置かれ、作る過程で排出される廃棄物や、不要となり廃棄されるモノへの関心は薄く、各地にゴミの山が築かれていました。実情を自らの目で見て知ることになった勇雄は環境への影響と未来を危惧するようになりました。廃棄物を適切に処理することが真に豊かな未来へ通じる道であり、よりよい環境を残す事が日本人の使命であると考えました。

そんな「想い」から加山組(加山興業の前身)が誕生しました。個々を敬い、公平に活躍の機会を設け、評価される職場環境に努めました。

これが、加山興業の歴史のはじまりです。

▶ 設立
1961

▶ 焼却炉竣工
1983

▶ 破碎・選別
プラント竣工
1990

▶ 解体新規事業開始
2004

▶ RPFプラント竣工
2006

▶ 壁画プロジェクト
2012

▶ ミツバチプロジェクト開始
2014

▶ 光学選別機導入
2016

▶ ラオスにて案件調査開始
2017

▶ 「一反パートナー」による米作り支援
2019

▶ みどりの図書
2020

▶ 鋼ナゲット製造ライン
2019

▶ バイオトイレ導入
2019

▶ 新社屋竣工
2019

▶ 銅ナゲット製造ライン
2018

▶ ハイブリッド発電設備導入
2018

▶ ラオスにて焼却炉竣工
2018

▶ ラオスにて最終処分場運営終了
2018

▶ 経営方針改定
2018

▶